彼岸花咲く
雨の中根駅(9/21)

おらが湊鐵道応援団報

第138号
勝田　阿字ケ浦

感動！「海辺の鉄道の話」

震災から延伸計画へ、海浜鉄道10年の軌跡描く

海浜鉄道開業10周年記念企画として、水戸芸術館ACM劇場で9月20日から24日まで公演された現代劇「海辺の鉄道の話」は、計6公演が連日満席となり好評でした。

海浜鉄道開業直前から現在までの約10年間、湊線に関わる人たちと2匹の駅猫をモデルにした2時間15分のストーリーは、笑いと汗と涙の連続。大震災時の湊線や延伸計画まで丁寧に描かれました。

湊線10駅のジオラマが設営された舞台では、主役で吉田社長役の春海四方さんら俳優のみなさんが、力いっぱいの演技を見せてくれました。2年間取材を続けた作・演出の詩森ろばさんは「今の社会が必要としているものがある場所」が湊線にはあると劇場パンフレットで語っています。

俳優の皆さんと応援団員で記念撮影（19日）

写真上＝舞台上のジオラマは、平磯小・阿字ケ浦小の子供たちが、俳優さんと一緒に夏休みに作りました。

舞台写真は水戸芸術館から提供をいただきました。

秋のお出かけは湊線で！

阿字ヶ浦駅⟷海浜公園海浜口
11月4日㈰までの土日祝日無料シャトルバスを運行

秋の行楽シーズンが始まりました。湊線沿線では秋も多数のイベントが開催されます。海浜鉄道では国営ひたち海浜公園で開催中の「コキアカーニバル」などに合わせて、11月4日㈰までの土日祝日の開園時間帯に阿字ヶ浦駅から同公園海浜口まで、湊線の同駅発着時間に合わせて、無料のシャトルバスを運行しています。次第に真っ赤に紅葉するコキアが植えられた、みはらしの丘へはシャトルバス利用が一番早くて確実です。沿線の他のイベント、みなと産業祭や虎塚古墳秋季一般公開などと組み合わせて湊線で秋の行楽を楽しんではいかがでしょうか?

コキアの紅葉やコスモスは10月上旬から中旬が見ごろですが、それ以前には赤と緑のグラデーション、後半には黄金色のコキアも楽しめるそうです。

お得です 入園券付フリー切符

海浜公園の入園券がセットになった「海浜公園入園券付湊線1日フリー切符」がお得です。通常は入園券450円、フリー切符900円が、合わせて1,100円(おとな)になります。発売は勝田駅湊線改札と那珂湊駅など。海浜公園で入園券購入で並ぶことなく入場できます。往復の湊線各駅の乗り降りも自由です。

過去最高の受講生が参加

ローカル鉄道・地域づくり大学

講師陣の話を真剣に聞くサマースクール参加者

8月25～26日、恒例のローカル鉄道・地域づくり大学サマースクールが開講されました。

市民協働により鉄道及び沿線の活性化を進めるひたちなか市の取り組みをアピールし他地域のテキストとなること、それにより市のブランド化を進めることを目的としたこの取り組みは、大きな反響と共感を呼び、今年は全国から40名を超える過去最高の受講生が参加しました。

事業者や市民の取り組み、学術面からの考察など地域鉄道活性化の最先端をとらえた講義に加え、プロによる写真教室・車庫見学やマナー啓発ポスター作成などのソフトなワークショップ、さらには本間市長のサプライズ登壇など、市民・行政・事業者の強固な協力体制が活性化を成し遂げたことをアピールする充実したものとなり、受講生から「予想をはるかに上回る内容」と高評価を受けました。

ひたちなか市は、ローカル鉄道と地域再活性化の最先進モデル。今回も、きっちりアピールできたようです。

（海浜鉄道社長・サマースクール代表理事　吉田千秋）

10/13ハマギク花壇整備

10月13日㈯ 朝8時(刈り払い機は7時半)から、那珂湊駅西側(洞下踏切一田中町踏切間)のハマギク花壇の整備を実施します。もうすぐ開花時期を迎えます。周辺自治会の皆様のご協力をお願いいたします。

駅の環境整備 いつもありがとうございます

駅名	10月7日(日)	11月4日(日)
中　根	柳沢美田多・相金・三反田班	
高田の鉄橋	柳が丘・関戸町・田中町自治会	
那珂湊	釈迦町 幸　町 湊泉町	小　川 龍之口町
殿　山	和田町・殿山町	七町目・牛久保町
平　磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯　崎	磯崎町自治会	
阿字ケ浦	阿字ケ浦自治会	

※朝8:30(中根駅・高田の鉄橋駅は8:00)から実施します。

おもな秋の沿線イベント情報

期　　日	イ　ベ　ン　ト	会　　場
9/15(土)～10/21(日)	コキアカーニバル	国営ひたち海浜公園
10/13(土)	那珂湊図書館開館40周年記念講演会	しあわせプラザ
10/21(日)	みなと産業祭	那珂湊漁港(卸売市場)
11/1(木)～11(日)※11/5～7休み	虎塚古墳石室壁画秋季一般公開	中根駅より徒歩30分
11/3㈯・4㈰	ひたちなか市産業交流フェア	ひたちなか市総合運動公園
11/11㈯・12㈰	那珂湊コミセン「コミ祭り」	那珂湊体育館周辺
11/11㈯・12㈰	しおさいまつり	平磯学習センター

秋の硬券フリー切符&応援券を発売中

フリー切符900円+応援券100円
セット価格 1,000円

売上げの一部は応援団の活動費に使われています。

湊線沿線の「いま」がわかる！ 応援団facebookページ「いいね!」8,810名を達成しました!

【海浜鉄道関係】
◇ホームページ　http://www.hitachinaka-rail.co.jp/
◇ツイッター　http://twitter.com/minatoline

【応援団関係】
◇フェイスブック　http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters
◇ツイッター　http://twitter.com/keha601
◇応援団HP　http://minatosen.com(湊線どっと混む)

※「ひたちなか海浜鉄道」「おらが湊鉄道応援団facebook」でそれぞれ検索もできます。

「MMM2018」へのご協力ありがとうございました

8月19日から9月8日まで開催されたMMM(みなとメディアミュージアム)は、最終日にアーティスト、学生スタッフ、地域の方々らが集まり表彰式トフリートークで幕を閉じました。学生スタッフお二人に開催のお礼と、節目の10回目の感想を寄稿いただきました。

今年で10周年を迎えるMMMの代表として無事にイベントをやり抜くことができたのは、アーティストの皆さん、スタッフ、来場者の皆さん、そして協力してくださった多くの地域の方々のおかげです。本当にありがとうございました。

「あおき線路は続く～ 10周年の軌跡～」をテーマに掲げ、10年間の感謝を胸に、これまでの成長を表せるよう努力してまいりました。

ひたちなか海浜鉄道沿線、百華蔵、商店街、ゲストハウス編湊(あみなと)に15組のアーティストが作品の展示やワークショップを行いました。今年は参加作家の数が少ない分、過去のMMM大賞受賞作家である井口雄介、野村在、玉田多紀の3氏を招待作家としてお呼びし、一つ一つがクオリティの高い作品ばかりであったと思います。

また、地元の小・中・高校生の皆さんと力を合わせてそれぞれワークショップも行い交流の多かった年であったと思います。

これまで多くの人に支えられ、作り上げてきたMMM。無事に節目の年を終えることができましたが、今後も地域に根付く活動を広げていけるよう精一杯頑張ってまいりたいと思います。これからもMMMをどうぞよろしくお願いいたします。　（MMM2018代表・山田萌結さん）

私自身スタッフとして3年目となる今年、アーティストとの連絡窓口であるキュレーション班の班長として活動させていただきました。MMMを運営する学生は長くて四年で様変わりしていきます。10年という時間がMMMがもたらした変化を教えてくれました。良い変化も、そうでない変化も、アーティストの方々の言葉から見つめなおすことができました。

「十年一昔」と言いますが、節目の年を迎えたMMMは今後那珂湊でどのように継続していけるか、改めて考える時期にあります。来年も再来年も、きちんと良い形で継続できるように、地域の方と学生とアーティストとで何かを生み出せるイベントであるように、スタッフ一同精進してまいります。

そして何より、2018年もMMMを開催することができたこと、心より感謝申し上げます。那珂湊の皆様のたくさんのご協力あってこその開催でした。本当に、ありがとうございました。

（MMM2018キュレーション班班長・高田彩加さん）

MMMの閉会式に集まったみなさん

野菜と干物の朝市
毎月第一日曜日に開催
■10月7日(日)
午前9時～11時頃まで
■那珂湊駅1番線ホーム

ひたちなか海浜鉄道 那珂湊駅　ひたちなか市釈迦町22-2
TEL 029-262-2361　FAX 029-262-5866
<発行> おらが湊鐵道応援団
〒311-1222　茨城県ひたちなか市海門町2-8-13(ひたちなか商工会議所那珂湊支所内)
TEL 029-263-7811　FAX 029-263-6859　E-mail:minato@hcci.jp